

第九中学校 3年 英語科 夏休み課題「Unit1～4の音読」

授業のねらい

- 主体的に音読練習を繰り返し、適切な発音ができるようにする。
- 自己の発音の正確さを確認し、今後の発音改善に活用する。

ICT活用の工夫

- 学習者用のデジタル教科書を用いて、自宅で発音の確認・練習ができるようにした。
- Teams アプリ の“Reading Progress”を活用して、課題をアップロードした。
→期間内であれば自分の好きなタイミングで課題に取り組むことができる。
- AI で発音精度を確認できるように設定した。※認識頻度は「高」推奨。
- 教科担当で AI のチェックを確認し、必要に応じて修正、生徒に返却した。
→生徒が自分の発音の正確さを確かめられるようにした。また、必要に応じてフィードバック欄にコメントを記入できるようにした。



※このような形で発音の正確さを確かめることができる。
正解率を2学期の評価材料にした。

生徒の様子

- 「試行回数」を確認すると、1つの課題に対して何度も挑戦し、より良い発音で録画できるように取り組んでいた。
※上記生徒の場合は5回。

成果

- 生徒が、主体的に音読練習に取り組むことができた。
- 生徒が、自分の発音について客観的に知り、改善につなげることができる。
- 回数を重ねるごとに、英語らしい発音で音読することのできる生徒が増えた。

課題

- AI は完璧ではないため、判定が厳しすぎるところがある。また、各単語についての正確さの判定であるため、文単位での流暢さやイントネーション等はチェックされないこともある。よって、教師が確認する必要がある。
- タブレット端末の使用上のトラブルが多かった。L-Gate から入って web 版で操作するとうまくいかないこと（読み込みに時間がかかり、タイムアウトする）が多く、アプリ版のダウンロードを推奨した。
- 英語が得意ではない生徒は、途中で諦めてしまい、あまり練習していない中で録画していた。今後工夫が必要である。